

事務事業名		働く婦人の家運営事業		目標設定日	平成28年3月1日
				部・局	経済部
総合計画体系	基本政策	3	にぎわいと活力あふれるまちづくり	課・室	働く婦人の家
	政策	02	雇用機会の充実と安定	係	
	施策	02	勤労者福祉の充実	内線電話	8241
予算体系	会計	一般会計		実施計画	
	款	5款	労働費	未計上	
	項	1項	労働諸費	実施期間	
	目	4目	働く婦人の家費	合併前	～

目指す姿	対象（誰のために）	意図（どのような状態にしたいのか）	
	女性労働者及び勤労者家庭の女性	各種講座に多くの女性労働者等に参いただく	
現状・課題	30歳未満から80歳代まで、すべての年代の方に参加をいただいている。（特に60歳代が多い）幅広い年代の方に参加いただける講座を開催している。		
市が行う理由及びその根拠	任意的自治事務	中野市働く婦人の家条例	
事務事業概要	女性労働者及び勤労者の福祉の増進と地位向上を図るため、職業及び家庭生活に必要な相談、指導を行うとともに、職業・生活・健康等に関する隠す講座を開催する。		
平成29年度の活動指標 アウトプット	活動内容		活動量
	各種講座を開催		講座回数 180回
	運営委員会		年2回
	利用者の作品展示・発表会の働く婦人の家フェスティバルを開催		年1回
	働く婦人の家だよりの発行		年1回

事務インプット	項目		単位	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	予算額	当初予算	円		3,382,000	3,384,000
補正予算		円				—
合計		円		3,382,000	3,384,000	3,420,000
決算（見込）額 A			円	3,291,344	3,384,000	—
H29は予算額	財源内訳	国庫支出金	円			
		県支出金	円			
		市債	円			
		その他特定財源	円	34,020	56,000	51,000
	一般財源	円	3,257,324	3,328,000	3,369,000	
正規職員数		人		0.65	0.65	0.65
人件費 B		円		4,297,150	4,294,550	4,294,550
総事業費 A+B		円		7,588,494	7,678,550	7,714,550
市民1人当たりコスト		円		172	176	178

成果指標	アウトカム	方向	平成27年度		平成28年度		平成29年度		
講座受講者数		維持	目標	2,300	人	2,500	人	2,500	人
			成果	2,613	人	2,194	人	—	
			目標						
			成果					—	
成果指標と目標値の設定理由	この成果指標の値の向上により、女性労働者等の意識向上・啓発が図られたことになるため。								

平成29年度の実施方針	効率的に実施	活動量	維持する	コスト	維持する	成果	維持する
	女性のニーズが高い軽運動系・料理講座等を開催し講座受講者数の増を図る。						

